

(特非) フー太郎の森基金

被災農地で被災者を対象にした無農薬・減農薬の市民農園造成と実践的「食育」講座開催

活動地域  福島県相馬市



二転三転しながら、ようやく整備された農地

課題

福島県では震災関連死が震災の死者を上回ってしまっただけでなく、震災で公営住宅に移り住んだ被災者は引きこもりがちで生活を送っている。また被災農地が耕作放棄地になっている。

目標

被災農地を市民農園に造成し、震災で家庭菜園を失った人々に利用してもらおう。合わせて農業をなるべく使わない農業を指導し、食養生講座などで健康な食の提案をする。



今後の
展望

農園通貨「ベジ」を発行し、園内に新たなコミュニティを作る計画だったが、新型コロナウイルス禍で十分な参加者が見込めないことから中止していた。耕作者を増やし、農園の本格開始に合わせて「ベジ」を発行したい。

復興支援助成

1年目

実践

活動内容と成果

相馬市から市民農園造成の認可を得、遊休閑地に環境や景観に配慮した市民農園の造成を開始。予定地の土質が悪く、新たな土120㎡を搬入することになったが、最終的に、9㎡・45区画の畑が整備できた。整地の完了が11月末となり、耕作シーズンを過ぎてしまったことから、利用者は2人6区画にとどまった。西田式手掘り井戸を西田氏の指導で園内に自力設置、雨のない時期でも順調に水を得ることが可能となった。また新型コロナウイルス禍ながら、福島市在住の境野米子氏の「実践的食養生講座」を2回開講できた。参加者は2回合計で50人となった。



西田稔氏が特許を持つ手掘り井戸掘りに挑戦

耕作放棄地に整備された畑 **45** 区画

「食養生講座」の参加者 **50** 人

今年度計画の達成度 **100** %

目標達成度 **60** %

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

大型重機で石取りなどもしたが、想像していた以上に予定地の土質が悪く、最終的に120㎡の土を入れることになった。

■ 工夫した点

畑づくりで最も重労働なのが水の運搬。園内に自力で手掘り井戸を設置し、水源を確保した。通年で水を得ることが可能になった。

〒976-0022
福島県相馬市尾浜字南ノ入241-3
電話：0244-38-7820
E-mail：info@futaro.org
HP：http://futaro.org/

